

# 議会だより入善

GIKAI DAYORI

NYUZEN

No. 215

2025年11月27日

丹精込めて育った多種多様な菊  
(第60回入善町菊花展)

9月  
定例会

じゅわ〜と  
にゅうせん

## 主な内容

補正予算の概要	...	2P
新しい議会組織決まる	...	4P
常任委員会レポート	...	7P
代表・一般質問(6議員)	...	10P
決算特別委員会レポート	...	16P



# を発行（プレミアム率 30%）

9月定例会は、2日から18日までの17日間開会し、町長から提案された令和7年度補正予算5件、条例の一部改正など議案1件のほか、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。

また、8月臨時会で継続審査とした令和6年度決算6件を認定したほか、入善町教育委員会委員の任命について同意した。

## 補正予算の概要

一般会計補正予算の主な内容は、長引く物価高騰の影響を緩和するため、入善町プレミアム商品券の発行や小・中学校給食費の値上げ分の補助、町内障がい者福祉施設・高齢者福祉施設に対する支援などである。

歳入、歳出ともに1億100万2千円を追加し、総額117億9832万8千円とした。

## ◎一般会計の主な事業

○地域経済等支援事業費 3954万円

引き続き物価高により、消費控えが懸念される町内消費を喚起し、町民への支援と併せて、町内事業者の経営の一助となるようにプレミアム率30%のプレミアム商品券を発行する。1セット6500円分の商品券を5000円で販売する。（一人4セットまで応募可能）

※応募期間は終了

○児童活動運営費 273万円  
○生徒活動運営費 228万円

小・中学校の給食費は、食材費などの高騰により、2学期以降は値上げとなるが、値上げ分は補助額を増額し、実質的な保護者負担額を据え置く。

・補助額 1人あたり、小学校は月額500円、中学校は700円を増額し、それぞれ3000円、3200円とする。

○障害者福祉対策費 98万円  
○在宅介護支援事業費 240万円

エネルギーや食料品等の物価高騰が続く中においても、安定した福祉サービスの提供体制が確保できるよう、町内の障がい者福祉施設および高齢者福祉施設などに対して、支援金を交付する。

## ◎特別会計

○国民健康保険特別会計

110万円を増額

○後期高齢者医療特別会計

66万円を増額

## ◎事業会計

○簡易水道事業会計

52万円を増額

○下水道事業会計

1438万6千円を増額

## 条例の一部改正

次の条例の一部改正案を審議した。

○入善町職員の育児休業等に関する条例及び入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

賛成全員で可決

## 議員提出議案

○入善町議会委員会条例の一部改正について

賛成全員で可決

# 令和7年度 入善町プレミアム商品券

## 教育委員会委員の同意

9月30日で任期満了となる加藤裕子委員の後任として、上野藍子氏を任命することに同意した。(任期は4年)

新

上野 藍子 氏

## 令和6年度決算認定

一般会計決算と国民健康保険特別会計は賛成多数で認定、育英奨学資金特別会計や後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計は賛成全員で認定された。

反対討論 松田 俊弘 議員

一般会計の借金残高は約154億円で10年間に約30億円も増えている。その返済額も10年前より毎年2億6千万円も増えており、住民のくらしへの予算が圧迫される。町の支出に占める投資的経費は他市町と比べ極端に多い。大型公共事業は集中させず、住民の暮らしや福祉を優先させるべきだ。地域から寄せられた生活道路の改修などに対応できたのは76%で、要望に応えられる予算編成にすべきだ。

防災対策では、避難所となる体育館のエアコン設置や使いづらい段ボール間仕切りの変更などを確実に進めていくべきだ。農業では規模の拡大や集約化だけでは

なく、家族経営であっても意欲のある農家の機械更新にも支援すべきだ。

教育の分野では、スクールカウンセラーや特別支援教育に長けた人の確保のために予算を大幅に増やすべきだ。

国民健康保険特別会計では、国保税の限度額を3万円引上げ102万円としたが、あまりにも負担が大きい引き上げは認めるわけにはいかない。

賛成討論 池原 純一 議員

新庁舎の整備では、物価高騰の影響をうけ、事業費は大きな金額となったが、町の新たなランドマークとして、町民には機能的で利用しやすいと喜んでいただいている。

町の重要事業である海洋深層水取水施設の復旧工事の財源確保に尽力された町当局の姿勢は高く評価する。

物価高騰対策では、国の施策に加え、町独自の支援策が的確に実施され、特に介護施設への配慮は今後も継続が望まれる。

昨年の4月に消滅可能性自治体として位置付けられたことに対しては、町全体が衝撃を受けた。町はこれまでも子育て支援や結婚支援に積極的に取り組んでいる。令和6年度においても更なる充実を図っており、今後も継続的な取組みを期待する。

また、近年の危険な暑さの中では、安全な教育環境を確保するためにも早急に小・中学校の体育館に空調を設置すべきであると決算特別委員会でも多くの意見が出た。引き続き、補助要件を研究していただきたい。

## 臨時会 8月1日

8月1日に開かれた臨時会では、町長から提案された条例の一部改正に関する議案1件を審議し、可決した。

## 条例の一部改正

次の条例の一部改正案を審議した。

○入善町議会議員及び入善町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

賛成全員で可決

## 決算特別委員会の設置

令和6年度一般・特別・事業の各会計決算認定については、5名の委員による決算特別委員会を設置し、次期9月定例会まで審査することとした。

委員長	中瀬 淳哉
副委員長	鍵田 昭
委員	松田 俊弘
”	佐藤 一仁
”	池原 純一

# 新しい 議会組織決まる

臨時会  
10月30日

## 就任のごあいさつ

議長

池原 純一

副議長

鍵田 昭

このたび、議員各位の推挙により議長に選任されました。身に余る光栄とともに責任の重さを痛感しております。

議会改革を断行し、定数12名となって初の選挙は、町政にとって重要な節目です。人口減少が進むなか、出産・子育て・教育・生業など、暮らしの基盤への影響に迅速かつ的確に対応する必要があります。

また、女性議員3名の誕生は新たな視点と活力をもたらすものと期待しております。

多様な意見を尊重し、安心して子育てできる環境や高齢者支援、災害に強い社会インフラ整備に尽力してまいります。

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきました。

身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いであります。

浅学非才ではありますが、議長を補佐し、町の一層の活性化を推進していきたいと思っております。

少子・高齢化、人口減少による労働者不足など、当町には喫緊の課題が山積みであり、町当局と議論を重ね、活力ある町づくりに励む覚悟です。

これからの議会改革を進めながら議会本来の役割を十分認識し、町政の発展に努力していきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

### ☆総務常任委員会

委員長	佐藤 一仁
副委員長	井田 義孝
委員	五十里 国明
〃	池原 純一
〃	三賀喜 久美
〃	飯田 朱美

### ☆産業教育常任委員会

委員長	中瀬 淳哉
副委員長	松田 俊弘
委員	元島 正隆
〃	本田 均
〃	鍵田 昭
〃	加藤 裕子

### ☆議会運営委員会

委員長	元島 正隆
副委員長	佐藤 一仁
委員	松田 俊弘
〃	五十里 国明
〃	中瀬 淳哉
〃	本田 均

### ☆議会改革特別委員会

委員長	元島 正隆
副委員長	本田 均
委員	全議員

### ☆交通網対策 特別委員会

委員長	五十里 国明
副委員長	本田 均
委員	佐藤 一仁
〃	井田 義孝
〃	池原 純一
〃	飯田 朱美

### ☆環境・上下水道対策 特別委員会

委員長	元島 正隆
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松田 俊弘
〃	鍵田 昭
〃	三賀喜 久美
〃	加藤 裕子

### ☆議会広報編集 特別委員会

委員長	鍵田 昭
副委員長	井田 義孝
委員	佐藤 一仁
〃	中瀬 淳哉
〃	飯田 朱美
〃	加藤 裕子

### ☆監査委員（議会選出）

委員	本田 均
----	------

# 新議員の紹介

〔議席順〕

〔敬称略〕

氏名、年齢（10月30日現在）、党派新旧別、当選回数、職業、住所の順



鍵田 昭 70歳  
自現 ③  
会社員、東狐



三賀 喜久美 62歳  
無新 ①  
会社員、舟見



飯田 朱美 54歳  
無新 ①  
作業療法士、上飯野新



加藤 裕子 49歳  
無新 ①  
無職、上野



中瀬 淳哉 47歳  
自現 ④  
会社員、入膳



本田 均 67歳  
無現 ④  
自営業、入膳



井田 義孝 56歳  
共現 ④  
無職、芦崎



池原 純一 70歳  
自現 ③  
農業、梶山



元島 正隆 72歳  
自現 ⑧  
自営業、上野



松田 俊弘 69歳  
共現 ⑧  
無職、春日



佐藤 一仁 70歳  
自現 ⑥  
無職、横山



五十里 国明 81歳  
自現 ④  
農業、東五十里

## ☆新川広域圏

### 事務組合議会

議員  
〃 〃  
元島 正隆  
佐藤 一仁  
池原 純一

## ☆新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業

### 組合議会

議員  
〃 〃  
松田 俊弘  
池原 純一  
鍵田 昭

## ☆新川地域消防

### 組合議会

議員  
〃 〃  
五十里 国明  
本田 均  
池原 純一



# 8月臨時会の議決状況

氏 名		鍵田	池原	岡島	井田	中瀬	田中	五十里	佐藤	松澤	松田	元島
議案番号		昭	純一	功	義孝	淳哉	伸一	国明	一仁	孝浩	俊弘	正隆
議案第35号	入善町議会議員及び入善町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 9月定例会の議決状況

氏 名		鍵田	池原	岡島	井田	中瀬	田中	五十里	佐藤	松澤	松田	元島
議案番号		昭	純一	功	義孝	淳哉	伸一	国明	一仁	孝浩	俊弘	正隆
議案第36号	令和6年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第37号	令和6年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第38号	令和6年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和6年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和6年度入善町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和6年度入善町下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和7年度入善町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和7年度入善町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和7年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和7年度入善町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和7年度入善町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	入善町職員の育児休業等に関する条例及び入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案3号	入善町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	入善町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成、×：反対

## 環境・上下水道対策特別委員会レポート

8月1日に委員会が開催され、令和6年度下水道事業会計決算などについて協議した。収益的収支（下水道施設の維持管理に必要な収支）は、収入額12億6004万円、支出額12億956万円、当年度純利益5048万円（税込）であった。

資本的収支（下水道施設の建設改良に必要な収支）は、収入額5億7859万円、支出額9億7489万円、資本的収入の不足額は3億9630万円であった。

### 令和6年度下水道事業実績と

### 7年度下水道事業計画について

令和6年度は、国道8号沿いの区間138メートル、青島口信号付近20メートルを整備した。令和7年度は、米澤電気商会前の約20メートル区間と青島口信号付近の残り約1メートルを整備予定であり、この2つの工事が完了すれば、国の補助事業による管渠整備は完了となる。

### 主要財源別財政見通しの試算

#### Q 物価高騰による維持費に影響はないか。

A 今後の物価上昇の状況を鑑み、毎年シミュレーションに反映させていく。

#### Q 配管の更新時期はいつ頃になるのか。

A 管渠の耐用年数は50年とされており、古いもので平成12年に供用を開始しているため、早くて25年後に更新を検討する必要がある。今回のシミュレーションでは、機械設備や電気設備等の更新を見込んでいる。

# 常任委員会レポート

## 総務 常任委員会

広域圏事業は計画的に  
予算計上を

**Q** 新川広域圏事務組合  
の宮沢清掃センター  
搬入道路整備にかかる調  
査・測量費は、計画的に  
予算計上することはでき  
ないのか。

**A** 広域圏議会で令和7  
年度以降の事業費に  
ついて説明があったとお  
り、入善町分を今回補正  
予算として上程した。

今後は、令和8年度予  
算を計上して、工事着工  
という流れになる。

**Jアラートシステムを  
改修**

**Q** **Jアラート（全国瞬  
時警報システム）の**

工事内容は。

**A** 今回はJアラートを  
受信する受信機と、  
その後情報を自動的に防  
災無線などに送る無線自  
動起動装置を合わせて改  
修する。

**障がい者・介護福祉施  
設などへの物価高支援**

**Q** 令和7年度社会福祉  
施設等物価高騰対策  
緊急支援事業は、町長の  
強い思いが感じられるが、  
その思いを聴きたい。

**A** 物価高騰で町民全体  
が疲弊している。国  
交付金額も上限があった  
ため、今回は福祉施設な  
どを重点的に行うという思い  
から補正予算を計上した。  
他業種でも今後の状況を  
みながら広げていければ  
と考えている。今後も物  
価高騰の状況を注視して  
いきたい。



エレキソルトスプーン

**減塩運動事業 エレキ  
ソルトスプーンを購入**

**Q** 寄付金による減塩運  
動事業の内容は。

**A** 微弱な電氣を用いて、  
減塩食品の塩味やう  
ま味を増強し、味わいを  
引き出すことができるエ  
レキソルトスプーンの評  
入を予定している。

## 産業教育 常任委員会

田陥没や畦畔修繕の地  
元負担の軽減を

**Q** 田の陥没や畦畔の修  
繕は、県単土地改良  
事業であるが、その負担  
割合は、県40%、町30%、  
地元30%ということを開  
いている。地元の負担を  
もっと軽減できないか。  
今回の田陥没や畦畔修  
繕の具体的な場所はどこ  
か。

**A** 負担割合は決められ  
ている。

田の陥没は7カ所であ  
り、吉原、青木、木ノ根、  
笹原、春日で各1カ所、  
浦山新で2カ所だ。  
畦畔修繕は飯野で4カ  
所あった。



令和7年度プレミアム商品券

**Q** これまでも田陥没  
の原因についてはい  
ろいろと議論したが、圃  
場整備事業の際に樹木を  
埋め込んだことが1つの  
原因ではないかと言われ  
ている。この責任はどこ  
にあるのか。

**A** 田陥没については、埋  
設した木の根っこが腐

食してというのはよく聞く。  
当時の施工管理における  
管理責任を求めることは  
できないし、責任を求め  
た事例もない。

希望者全員のプレミア  
ム商品券を

**Q** 購入希望者が望む  
セット数を用意す  
ることはできないか。

**A** プレミアム分3  
300万円（1  
5000円×2万2千  
セット）のうち、国交  
付金が1100万円で、  
残りは町が賄っている  
ので、全希望数を用意  
するのは難しい。

ただし、必ず1人1  
セット購入できるよう  
に人口相当数を確保し  
ている。よりよい財源  
などあるか調査・検討  
していきたい。

## 常任委員会合同研修レポート 7月1日～7月2日

7月1日から2日にかけて1泊2日の日程で、愛知県清須市、岐阜県各務原市、高山市を両常任委員会合同視察した。

### 産業教育常任委員会

（学校の環境整備）  
学校体育館の空調整備について  
愛知県清須市

7月1日から2日にかけて1泊2日の日程で、愛知県清須市、岐阜県各務原市、高山市を両常任委員会合同視察した。

この整備にかかった総額は約10億4400万円であり、その内の約3億9100万円についてエルピーガス振興センターの補助を受けた。

維持費は、1施設あたりのガス使用料として夏場は約20万円、冬場は約

タの補助を受けた。

清須市は、平成12年に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことをきっかけとして、防災・減災対策に力を入れて取り組んできた。近年は災害的な暑さであることから、避難所として指定している学校体育館の空調整備を課題としていた。

また平時は、児童・生徒が体育館を学校活動で使用するにあたり、熱中症の危険性も課題であった。この二つの課題に対して、清須市は、大規模災害により電線や都市ガ



LPGガスパルク（新川小学校）

10万円程度であり、メンテナンス費用として18カ月で670万円がかかる

と説明を受けた。

導入後の利用者からは、猛暑時であっても体育館は快適であり、学校現場からも喜ばれているとのことだった。

### （にぎわい創出） 河川空間のオープン化 岐阜県各務原市

河川空間のオープン化とは、国土交通省が河川敷地の利用に関する規制を緩和し、民間事業者などが営利目的を含めて自由に取組むことができるようになり、水辺空間の活用を促進し、地域のにぎわい創出や活性化が可能となるように改正した制度だ。

各務原市は、この制度を活用し、1級河川の本曾川右岸に面する前渡地区に本曾川前渡南公園を整備した。公園の周辺には、各務原市総合運動公

園、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、サイクリングロードが隣接しており、施設の相乗的な充実に繋げている。

オープン化の主なスケジュールは、地域の合意形成を図る必要があることから、令和4年7月に前渡地区本曾川河川区利用調整協議会を設置し、令和6年3月にオープン化実施区域の指定を受けた。その後、6年5月から工事着工し、同年

12月からオープンした。公園内の施設としては、バーベキューができるデイグランピングや軽食販売、フリーバイクコース、イベント広場、休憩所、トイレなどが配置されている。

視察した当日は、平日の午前中にもかかわらず、ちようど、一般の方がフリーバイクコースでBMXの練習をしており、市民に親しまれる公園施設であると感じた。



本曾川前渡南公園内のトイレ施設

### 視察を終えての感想

（愛知県清須市）

町内の小・中学校は近年の異常な暑さに対し、工夫しながら体育館を利用していると聞く。しかし、温暖化の影響により今後はさらに暑くなることが予想されるため、抜本的な改善策が必要であり、清須市のように体育館に空調整備を考える段階にあると感じた。

町には、是非とも計画的に空調整備を検討していただきたいと思う。

（岐阜県各務原市）

墓ノ木自然公園や青野自然公園パークゴルフ場は町内外からたくさんの方々に利用していただいている。しかし、河川区域内にあるため、一般の水洗トイレが設置できず、可動式の簡易水洗式トイレを設置している。

町には、各務原市のトイレ設置事例を参考とし、快適なトイレ環境を考えていただきたいと思う。



## 総務常任委員会

### 〔防災・減災対策〕

避難所の非常時電源の整備について

#### 愛知県清須市

7月1日は、清須市で「LPガスによる学校体育館の空調・非常時電源整備」を視察した。

#### 全小・中学校の体育館に一斉に整備

清須市は防災対策の強化のために、令和5年1月に全ての小・中学校の体育館など13カ所に空調設備を整備した。

#### 停電でも稼働できるガスヒートポンプエアコン

LPガスヒートポンプエアコンを採用したのは、災害時の停電でも稼働できるからで、ガスの供給がなくても最低でも3日間は稼働できるという。

また、発電機を稼働さ



清須市立新川小学校にて

せて照明やスマホ充電もできる。ガスバルク（貯蔵と供給の設備）では、炊き出しにも活用できると。

ガスの燃料費は一施設で夏場が約20万円程度、冬場は10万円程度で済むそうだ。また設備のメンテナンスは民間業者に委託し、672万円（18カ月）で契約しているとのことだ。

#### 小学校の体育館でエアコンを体験

新川小学校の体育館を訪ね、エアコンを作動させてもらったところ、室内機の吹き出し口からは

涼しい風が吹いてきたが、短時間の滞在だったので体育館全体がどの程度涼しくなるかは確認できなかった。

#### 〔医療サービスの提供〕

##### 移動診療車によるオンライン医療について

#### 岐阜県高山市

7月2日には、高山市が導入した移動診療車を視察した。

#### 医療機関が偏在

高山市は、平成17年に旧高山市と近隣の2町7村が合併し、東京都に匹敵する広さだが、同市の医療機関のほとんどが高山地域に集中している。

#### 地域医療を支える国保診療所のグループ化

合併前から町や村の医療を支えてきたのが、国保診療所で、各町村に7つの診療所と3つの出張診療所があった。

しかし、退職医師の補充がでず、市の南に位

置する3つの診療所をグループ化し、平成26年に南高山地域医療センターが設置された。

#### 移動診療車によるオンライン診療を導入

令和7年1月、へき地に医療を届けることと、オンライン診療を行うこととで医師の移動時間の短縮を図ることを目的に、移動診療車が導入された。

個人宅や公民館に向いて診療を行うもの

利用した患者へのアンケートでは「普段の対面診療と比べて

同じような診療を受けられてい

る」と感じた人は67%、「やや

感じた」が22%だった。

今後は、運行

エリアの拡大、

対面とオンライン診療の適切な

組み合わせを検討していくと



移動診療車内

で、看護師2名が乗車し、患者のバイタル測定をしたのちに医師によるオンライン診療を行う。

薬の処方があれば診療所から薬局にファックスが送られ、薬局はオンラインで服薬指導を行い、のちに患者に薬を届けているという。

移動診療車による診療は午後に行われており、移動にも時間を要するの

で、一日最大5人の診療が限界とのこと。

利用した患者へのア

ンケートでは「普段の対

面診療と比べて

同じような診療を受けられてい

る」と感じた人は67%、「やや

感じた」が22%だった。

今後は、運行

エリアの拡大、

#### 視察を終えての感想

##### （愛知県清須市）

LPガスによる空調は、停電に影響されず、発電や炊き出しもできるため、避難所の冷暖房設備として大変優れていると感じた。

ただし、体育館は非常に大きなスペースであるため、冷気や暖気を外に逃がさず、逆に入り込ませないような工夫が必要だ。視察した小学校の体育館は、窓の占める面積がかなり広がったため、断熱対策が必要ではないかと感じた。

##### （岐阜県高山市）

医療の提供は人の命に関わる最も重大な課題の一つだが高山市の「民間ができないものは徹底して行政が担っていくんだ」という姿勢には、学べるものがあると感じた。

入善町は、高齢化に伴い免許返納者が増加しており、通院のための公共交通の充実など不断の改善を図っていくべきだとあらためて思った。



どうなる米政策

## 差額補償など農家の所得補償を

### 国に求めていくべきだ

#### 町長 必要ならば要望していききたい

**問** 政府はコメの需要を見通せず生産量が不足していたことが価格高騰を招いたとして増産にかじを切る方針を表明した。

増産により価格が落ちたとしても生産者が安心して米を作れるようなセーフティネットを確立すべきだ。適正な消費者価格と生産者価格との差を国が埋める差額補償など、農家の所得補償を町からも国に強く求めていくべきだ。

**笹島町長** 政府の検討の推移を注視し、必要ならば国や県に要望をしていきたいと考えている。

**基盤整備等の土地改良事業を進めていくべき**  
計画的に支援していき

**問** 基盤整備等の土地改良事業の町負担分11%は大きい支出だが、農業は

当町の基幹産業であり、これまで以上に積極的に集約化と土地改良事業を進めていくべきだ。

**町長** 県営土地改良事業は、国・県の補助金に加え、町が11%、地元も11・5%の割合で負担することとなっている。

町では国や県の補助制度の拡充と負担金の軽減などについて毎年、県に要望している。

町としても県営土地改良事業は有効な施策であると考えている。

今後も地域の合意形成が図られ、農地の集約化や農業水利施設の改修など、新たに事業が計画・実施される際には、引き続き計画的に支援してい

きたいと考えている。

**旧役場庁舎と旧消防署を早急に解体すべきだ**

**具体的時期については明言が難しい**

**問** 旧庁舎と旧消防署を早急に解体すべきだが、いつ頃を予定するのか。

**町長** 現在、旧庁舎では、高圧電力関係の設備の撤去、建物内部に残っている電子機器・配線の切り替えに必要な工事に取り掛かっている。今後は設計等の準備を進めていく予定としているが、解体の具体的な時期については明言が難しい。

**問** 旧庁舎周辺をどのようなエリアにしたいのか。また跡地利用について議論を進めているのか。

**町長** 現在策定中の総合

計画後期基本計画において、跡地の利用をどのように位置付けるか庁舎内で検討していきたい。

公民連携や民間主体なども含めて、様々な可能性について調査・研究していきたい。

**問** 入善東部保育所や西部保育所の跡地利用はどのように考えているのか。

**町長** 両保育所の跡地については、令和5年度に建物を解体し更地にしたものの、町での利活用について具体的な計画がないことから、公募入札を実施したいと考えている。

今後、他の使用されていない町有地も含めて要件等を整理するなど、公募入札に向けた準備を進めていきたい。



中瀬 淳哉 議員（会派 アクト）



## 学校体育館の空調設置が急務だが対応策は

町長

### 来年度に断熱調査を実施し、 整備の方向性を検討する

**問** 今年も暑さのために学校の体育館が利用できない日があった。子供たちの学習環境整備のために空調設備の設

置が急務だ。来年度に間に合わせるような具体策はあるか。

**笹島町長** 近年の記録的な暑さとなる夏が、教育環境へも大きな影響を与えている。学校現場では、熱中症事故を防ぐために対策を講じている。

早期の空調設備設置が望まれる学校体育館

空調設備のない体育館での授業では児童・生徒の体調に気を配り、休憩や水分補給を徹底し、それでも危険な場合は、体育館での活動から空調が整備されている場所での授業に切り替えるなど、工夫しながら対応している。

児童・生徒の安全確保はもとより、教育上の観

点からも体育館の空調は必要だ。また、災害発生時の避難所としての機能強化も社会的な要請だ。

令和6年度に創設された空調設備整備臨時特例交付金を活用して整備したいが、断熱性の確保が条件となっているため、まずは、来年度に調査を実施した後、整備の方向性を検討していきたい。

学校のバリアフリー化を推進してはどうか

来年度の設置工事に向け、国に要望している

**問** 身体に障がいのある児童・生徒の学校生活に支障が生じないように、エレベーターや階段昇降

機などの設置を考えてはどうか。

**町長** 障がいの有無に関わらず、安心して学校生活を送ることができるよう、バリアフリー化を推進する必要がある。

エレベーターなどの整備についても、現在、肢体不自由級に在籍する児童がいる学校で、校舎の構造上も設置可能な昇降機の整備を検討している。令和8年度の設置工事実施に向けて、国の事業採択への要望を行っている。

町内にケアハウスを整備する考えはないか

町が運営主体になるには専門性などから困難

**問** 自宅での生活が困難な高齢者のために、低料

金で安心して暮らせるような、ケアハウスを整備する考えはないか。

**腰本保険福祉課長** ケアハウスは軽費老人ホームの一種で町内には無いが、低額な料金で生活支援を受けながら生活できる。

町内にケアハウスはないが、東町住宅に20戸のシルバーハウジングを整備して、生活相談など支援している。また、民間のサービス付き高齢者向け住宅が2カ所ある。

ケアハウスのニーズは一定数有ると推測できるが町がケアハウスの設置、運営主体となるのは財政負担や専門的な運営ノウハウの点から困難だ。



佐藤 一仁 議員（会派 自民清流会）



エレベーターが設置される予定の入善駅

## 入善駅のエレベーター設置計画に進展は

### 副町長 あいの風とやま鉄道が設置意向を表明

**問** 新聞で「泊駅にエレベーター設置が決定、入善、黒部駅にも計画中」と報じられたが入善駅への具体的なエレ

ベーター設置計画があるのか。3月議会答弁から何が進展したのか。

**竹島副町長** 国の補助を受けるためのバリアフリー基本構想の策定、その後、あいの風とやま鉄道の中長期計画へのエレベーター設置位置づけという手順は変わっていない。

しかし、6月23日に開催されたあいの風とやま鉄道利用促進協議会で、日吉取締役会長から「多少時間がかかるかもしれないが入善、黒部、泊の三駅ともエレベーター設置の方向で進んでいる」との発言があったことから大きく前進したものと捉えている。



井田 義孝 議員（会派 日本共産党）

買い物や通院のためのバス復活を

ウチマエくんの利用を促進したい

**問** 乗合タクシーのウチマエくんの朝の予約は1週間前から予約をしなければならぬ、乗合なので、迎え・到着時間の見通しが立たないなどの問題点がある。

この3年間の免許返納者の推移はどうか。一番利用の多い買い物や通院のためのバスを復活すべきだ。せめて朝の時間にもう1台増車すべきだ。  
**若林キラキラ商工観光課長** 免許返納者は令和4年度は162人、5年度

は118人、6年度は138人だ。かつて、のらんマイカーで「バス停が遠くて利用したくても出来ない」という声を受けデマンド交通ウチマエくんを導入した経緯がある。朝に特に予約が取れない状況ではないが、予約の不成立を改善するため、増車も含め町タクシー協会との協議を継続している。

**令和7年産米の作況や値段はどうか**

**平年より収量多くなる予想**

**問** 今年も猛暑でコメの品質や収穫量が懸念されている。富山県の作況指数は平年並みとのことだが、農家に支払われる概算金の高騰、新米の値段

の高騰が報じられている。町内の作況や値段はどうか。十分な供給量が確保されるのか。お米券などの支援は考えないのか。

**笹島町長** 県新川農林振興センターによれば、コシヒカリは平年より穂数が多く籾数が多いと見込まれるので収量もやや多いと予想されることだ。

J A全農とやまでは値段が5キロあたり4000円を超えないよう概算金を決定し、供給量も充分あるとのことだ。

お米券など特定の支援は考えていないが、今後さらなる物価高騰などにより、町民生活に大きな影響が懸念される場合には、支援と経済対策には努めていきたい。



## 体育館の空調 当面はスポットクーラーで

### 教育委員会 事務局 学校と相談し設置を検討する

**問** 猛暑から子どもたちを守り、かつ避難所としての体育館の環境改善にエアコン設置を急ぐべきだ。政府も新たな交付金

制度を設け促している。

**田中教育委員会事務局局長**

交付金の補助要件の断熱性確保で、どの程度改修が必要かの調査を来年度に実施する。その結果を踏まえ空調設備の整備の方向性を検討していく。



愛知県清須市の小学校体育館のエアコン室内機



松田 俊弘 議員

**田中事務局** 空調設備の整備には一定の時間が必要で、スポットクーラーもある程度効果があると考え。学校とも相

談のうえ、設置について検討していきたい。

**特別支援教育コーディネーターの継続的な養成を**

**実践と研修で牽引できる人材を育成したい**

**問** 増え続ける発達障がいなどの子どもに対応するため、町は昨年から学校とは別に、教育センターに特別支援教育コーディネーターを配置したが、今後、どのようにしてコーディネーターを養成していくのか。

**小川教育長** これまで、保護者と学校との共通理解が進まない面もあったことから、専門職として

配置した。小・中学校に精力的に出向き、保護者と学校をつなぐ役割を果たしてもらっている。

学校内に配置されているコーディネーターは、学校内の特別支援教育に係る調整を行っている。

また年3回、センターのコーディネーターが中心に運営する研修で資質向上を図っている。

**実践と研修で、特別支援教育を牽引できる人材の育成につなげたい。**

**少人数世帯に負担の大きい下水道料金の見直しを**

**議会に相談の上、一律20%の値上げにした**

**問** 町の下水道使用料は、一軒あたり2508円という高い基本料金を徴収しているため、1人世帯の使用料が5人世帯の一人分の2・7倍と不公平な料金体系となつて

いる。

1人世帯、2人世帯の使用料は県内で最も高い。特に1人世帯は黒部市の2倍だ。逆に5人世帯以上になると入善町の方が割安になる。

基本料金は廃止し、水の使用量に応じた料金体系に近づけるべきだ。

**国友水道課長** 少人数世帯の負担を減らすと、多人数世帯の負担が重くなるということを議会に示し議論していただいた。

現時点で料金体系の見直しは考えていない。

**問** 実態は逆で、多人数世帯の割安分を少人数世帯が負担している。早急に見直すべきだ。

**竹島副町長** 決して今の料金体系がベストと思っていないが、特別委員会と相談しながら今回一律20%の引き上げとした。



アンダーのイメージ図

## 旧役場前交差点のアンダーパス化が必要だ 町長 実現は難しいのではないか



五十里 国明 議員

**問** 昨年1月の地震では旧役場前交差点が大変渋滞した。この交差点のアンダーパス化について、町は「国の整備により交

通がスムーズになることを期待して現在の現道拡幅を優先し、市街地から主要なアクセス道路として1路線目は入善高校西側の県道入善宇奈月線、2路線目は役場現庁舎の東側の町道高登線と町道運動公園上田線、3路線目はアイシン新和西側にある町道上原上村国道線、この3路線を確保することで町民の道路利用に関しての利便性の向上はもちろん、災害時のリスク回避といった防災面の強化に繋がる」との答弁であったがその考えは今も変わらないか。

**西島建設課長** 現在、市街地から新庁舎への主要

なアクセス道路は3路線あると考えている。1路線目は、入善高校西側の県道入善宇奈月線、2路線目は、役場旧庁舎の東側にある町道高登線と町道運動公園上田線、3路線目は、アイシン新和西側にある町道上原上村国道線である。現在も変わらずこの3路線を入善町幹線道路網計画においても新庁舎への主要なアクセス道路として位置付けている。

なお県道入善宇奈月線は、町中央部の南北連絡基軸の道路として、拡幅について毎年県へ要望を行い、事業化されたところだ。

**問** 役場庁舎自体は特に避難場所ではないが、周辺に中央公園、わくわくドーム、総合体育館などの公共施設があるため、そこへ参集する方々が多いと思うが、当局に再度提言するが、本員は本庁舎前をアンダーにする

ことが、町民の安全な避難行動に繋がると確信している。アンダーにするために当たり、第1に道路用地が安く、用地の確保が容易である。第2に信号機10カ所の設置の緊急避難時の回避にはこの場所のアンダーの必要性和防災・減災、国土強靱化の国策事業として工事着工の要望活動を強く進め

ていくべきと思う。  
**笹島町長** 旧役場庁舎前の国道8号のアンダーについては、以前から五十里議員からもある程度の図面等も示して説明を受けたことがある。

基本的にアンダーと言いつつも、右折、左折ラインも含めていくと、基本的にはやはり4車線という面積的なものが必要であり、アンダーである以上、勾配と、延長もある程度取る必要がある、実現は難しいのではないか。



## 海洋深層水取水施設の復旧工事に

### 問題点はないか

キラキラ商工 工事はおおむね計画どおり進んでおり  
観光課長 工事監理体制も問題点はない

**問** 海洋深層水取水施設の復旧工事において、取水管敷設工事と建屋との建設工事に問題はないのか。

また、工事監理に問題はないのか。

**若林キラキラ商工観光課長**

令和6年9月議会において議決された取水ピット建設工事や推進工事、取水管敷設を実施している入善海洋深層水取水施設整備工事については、おおむね計画どおりに進んでいる。

現在は取水ピットや推進工事、取水管の製作が完了し、今後は洋上での取水管敷設工事や、陸上での機械設備、電気設備の工事を実施する状況となっている。

工事の監督員については、町の発注する工事が適切かつ安全に実施され

ることを監理するため、全ての工事において配置しており、工事の規模などによって、1名ないし2名の体制で対応している。

当該工事は、極めて短い工期の大型工事を監理するという状況を踏まえ、監督員を2名配置している。

毎週必ず現場へ出向き、工事の進捗を逐次チェックしているほか、月に2回の定例会において、現場の詳細な状況の把握に努め、工事の監理監督を着実に進めている。

問題点はないものと考えている。

**アトランド造成工事におけるCBR検査はアトランドが地盤支持力の調査を実施した**

**問** アトランドの敷地造成において造成工事のCBR検査をしなくてもいいと聞いたが、その理由を聞かせてほしい。

**若林課長** CBR検査とは、道路などの路盤や路床の支持力を評価する土質試験である。

この造成工事は、事業造成地の構造物の取壊し、盛土、整地、排水路の付け替えなどを施工したものであり、令和6年6月に完成し、7年3月議会において議決され、アトランド株式会社への売払いが完了した。

当該工事の盛土材につ

いては、町の監督員が現地へ出向き、目視や土砂を直接に取って確認をして良質な土砂と判断した上で、工事発注時の材料として採用した。

今回の造成工事において、CBR検査を行わなかった理由は、工事発注前のアトランド株式会社との事前打合せにおいて、造成工事終了後にアトランドのほうで、地盤支持力の調査を行うとの申し合せをし、造成工事におけるCBR検査は不要としたからだ。

アトランド株式会社からは、地盤支持力の調査を行った結果、強固な地盤であり、構造物を建設するに当たり、良好な地盤として整備されているとの報告を受けた。



復旧工事が進む海洋深層水施設



岡島 功 議員

# 令和6年度決算を認定 決算特別委員会レポート

## 審査の過程

8月1日から5回にわたり決算特別委員会を開催した。委員会では決算添付書類に基づき説明を受け、質疑を行った。

8月22日には総括質疑、討論、採決を行い、一般会計と国民健康保険特別会計は賛成多数で、その他の特別会計と事業会計は賛成全員で、それぞれ認定すべきものと決した。

## 審査報告

令和6年度は、能登半島地震で被災した海洋深層水取水施設の復旧の年であった。地震で破断した2本の取水管を早期に復旧するため、国の財政支援を得て、取水管の整備が始まった。令和7年中の完成を目指して進められている。そして防災対策に関心が高まる中、災害時の新たな

拠点ともなる、待望の新庁舎が完成した。町長が議会に庁舎の今後のあり方を検討すると表明してから、およそ8年の歳月をかけた一大事業であった。

一般会計の決算は、歳入が約145億円、歳出が約139億円となり、財政状況は健全性が保たれていると判断した。

昨年4月に消滅可能性自治体に入善町が位置付けられたが、総合計画に基づき、ストップ人口減少に向けた各種施策を着実に推進していくことが、消滅可能性自治体からの脱却につながると思う。今後も引き続き、地道に取り組みを進めていきたい。

## 主な審査意見

○介護施設の運営について  
現在、介護施設では介護職員の不足で利用者を増やせないことや物価高騰の影響

響などにより、非常に厳しい経営状態にある。

運営規模の縮小や廃業などにならないよう、今後必要な支援を検討していただきたい。また介護人材の確保についても関係団体と連携しながら、取り組みを強化していただきたい。

○教育センターの充実について

教育センターには、新たに特別支援コーディネーターが試験的に設置されるなど、教育センターの果たすべき役割はますます重要になっている。児童・生徒へのきめ細かな対応が必要となる業務が年々増加している

ので、教育センターの指導体制の強化を図るとともに、人材の育成・確保を行っていただきたい。また、施設も手狭に感じられることから、施設の拡張などにも配慮していただきたい。

○学校体育館の空調整備について

小・中学校の体育館への空調整備については、令和6年度の国の補正予算において新たに臨時特例交付金が創設された。

近年、危険とも言える夏の暑さで、児童や生徒が熱中症等を起こしやすい環境となっていることや、災害時には体育館が避難所としても使用されることから、どうすれば臨時特例交付金を活用できるのかを十分に研究され、早急に小・中学校の体育館の空調整備に取り組んでいただきたい。

## その他

財政運営では、近年行ってきた新庁舎整備事業など大型事業に係る公債費の増加が懸念されるが、町の発展に資する事業については今後も有利な財源を最大限に活用しながら計画的に取り組んでいきたい。

## 編集の窓

全国で熊の被害がおさまらない。町内でも足跡のうなものが見つかリ、子どもたちの通学に影響しました。数年前の横山地区内での駆除を思い起こします。

熊をこんなに身近に感じるようになった環境の変化に驚いています。ムツゴロウさんの「どんべえ物語」に出てくるような生活が不思議に感じます。町内で人の被害が生じないよう願うばかりです。

さて、10月19日に行われた町議会議員選挙の結果、新しい6人の委員で議会広報紙の編集にあたります。町民の皆さんに親しまれるように頑張っていきます。

### 議会広報編集特別委員会

議長	池原 純一
委員長	鍵田 昭
副委員長	井田 義孝
委員	佐藤 一仁
"	中瀬 淳哉
"	飯田 朱美
"	加藤 裕子